

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ろばご療育園 そら		2025年 4月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		その日の状況に応じて活動スペースを分ける工夫をしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		シフトを見て職員が不足している日が内容に調整を行っている。	人数調整をして安全に過ごせるように職員配置を行う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもたちが安全に過ごせるよう、ドアストッパーやコーナガードを設置している。	今後も引き続き安全に過ごすことができる環境づくりに努めていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日丁寧に保育室を清掃している。	玩具の消毒の頻度を増やし感染症予防にしっかりと取り組む。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		トイレを個別で使用したい子を分ける工夫をしている。	その場の状況に応じて対応していく。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議で行事の振り返りを行っている。	今後も振り返りをして改善に努める。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		行事ごとに保護者にアンケートを実施し改善に取り組んでいる。	今後もアンケートを実施していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修内容を掲示し職員全員が共有できるようにしている。	今後も研修内容を共有していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年間指導計画をホームページに掲載している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日々の子どもの様子を把握し保護者に意向を確認している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		クラス会議で職員が話し合い支援内容を決定している。	今後も職員で意見を出し合い支援計画を作成する。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			今後も職員全体で共有し支援を行っていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			日々の様子や状況を記録し具体的な支援内容につなげていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		クラス会議で意見を出し合いスプレッドシートで共有している。	子どもの発達状況を考えチームで意見を出し合っていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		懇談会や保護者のアンケートで意見を取り入れ参考にしている。	保護者さまの意見を踏まえながら活動プログラムを立案していく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		主に集団での活動を取り入れ年長児は就学に向けて個別での活動を行っている。	子どもの状況に合わせて必要な支援を提供していく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼やスプレッドシートで共有し話し合いながら役割分担をしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		支援終了後、振り返りが出来ていない場合もあるため徹底していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の子どもの状況をスプレッドシートやラインで情報共有している。	
	23 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		目標の達成を確認し支援計画の見直しを行っている。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		情報交換や引継ぎを行っている。	問い合わせや相談があった場合も対応する。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		問い合わせに対応したり、専門性の助言を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	○		南児童館での活動を取り入れたり地域の子どもと関わる機会を設けている。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		みなみっこだよりや名古屋市のイベントのチラシを配布したり情報提供を行っている。	保護者支援を継続していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談の機会を設け支援を行っている。	今後も懇談会などの面談を定期的に行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ろばママの会、ろば/ひの会を開催し保護者同士交流する機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		グーグルフォーム、ルクミー、インスタグラムを活用して情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫で保管をしている。	今後も個人情報の取扱いに十分に注意していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日ごろからコミュニケーションを取り、情報共有しやすい環境を作っている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		セルコボ祭で地域の方を招待している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルをクラス掲示している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月、色々な災害を想定した避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		投薬依頼書の内容やてんかん発作の対応方法について共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		クッキングやおやつ作りでは食物アレルギーに十分注意をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に關して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を職員室に掲示し会議で再発防止について話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員会議で虐待防止委員会があり話し合う機会がある。	今後も職員で虐待について話し合い適切な対応が取れるように努めていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		職員会議で虐待防止チェック表を活用して職員で話し合っている。	